

プレジャーボートのバッテリーに注意!

平成28年7月

⚡ バッテリー上がりによる海難が増加しています!

要注意

● 海上ではバッテリー上がりになると帰港できない状況になります

● 海上で機関を停止し、漁探や電動リールを使用しながら釣りをしていたところ、バッテリーが上がり帰港できなくなった（巡視艇で曳航救助）。

事故事例

▶ 平成27年は33件、平成28年（6月まで）はすでに22件発生!

⚡ バッテリーのチェック方法について

● 出港前には必ずバッテリーのチェックをしましょう!

- ① ケーブル端子接続部の緩みや腐食の点検
- ② 電圧の確認（バッテリーチェッカーで確認! : 12.6V以上で良好）
- ③ 機関始動時の音、始動具合の確認
- ④ 液量の確認（液量をUpper LevelとLower Levelの間に保ちましょう）
- ⑤ 電解液の比重確認（1.25以上で良好）

※ ④、⑤については、メンテナンスフリーのバッテリーでは点検できません



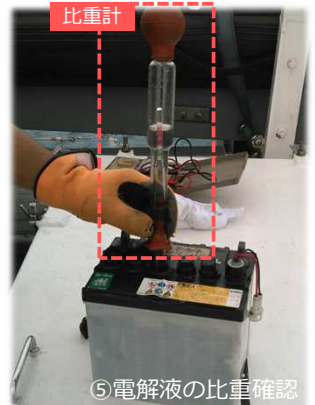
① 端子接続部の確認



② 電圧の確認



④ 液量の確認



⑤ 電解液の比重確認

● おかしいと思ったら・・・

- ▶ 充電や蒸留水の補充、バッテリーの交換を行いましょう!
⇒作業を行う際は、バッテリーの取扱説明書に従って作業しましょう。
※メンテナンスフリーのバッテリーには、蒸留水の補充はできません。

⚡ バッテリーの交換時期等について

● バッテリーの寿命について

- ▶ 概ね2～5年ほどが寿命といわれていますので定期的に交換しましょう!
⇒使用頻度が少ない船舶のバッテリーは、2年以内で劣化するケースもあります

● アクセサリー専用のバッテリーを搭載することを推奨します。

- ▶ 「ジャンプスターター」（バッテリーが上がった際機関を始動できる機器）を船内に備え置くことも有効です。